

北九州工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	専攻科特論VI
科目基礎情報					
科目番号	0056		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	生産デザイン工学専攻		対象学年	専2	
開設期	集中		週時間数		
教科書/教材	担当講師・教員から指示する				
担当教員	浅尾 晃通,加島 篤,秋本 高明,久池井 茂,松嶋 茂憲				
到達目標					
1. 最先端の融合複合技術によるモノづくりについて理解できる。					
ルーブリック					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1		最先端の融合複合技術によるモノづくりについて説明・分析できるとともに応用できる。	最先端の融合複合技術によるモノづくりについて説明できる。	最先端の融合複合技術によるモノづくりについて説明できない。	
評価項目2					
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	本講義では最先端の融合複合技術によるモノづくりについて講義を行う。基礎的事項とともに注目される新技術、社会動向を踏まえ、これら技術について深く学ぶ。なお、本授業は他高専あるいは本校の専攻科で開催されるサマーレクチャーなどで学修した結果、その成果が2単位に相当すると認められる場合には、専攻科特論VIを学修したものとし2単位を認定する。読み替えの判定は専攻科委員会で行われる。開講時期は、事前に通知される。				
授業の進め方・方法	本校専攻科において開催する場合、複数の教員がオムニバス形式で最先端の融合複合技術によるモノづくりについて講義を行う。設定されたテーマにより、参加者の専攻分野が限定されることがある。				
注意点					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	融合複合技術によるモノづくり	最先端の融合複合技術によるモノづくりについて説明できる。	
		2週	融合複合技術によるモノづくり	最先端の融合複合技術によるモノづくりについて説明できる。	
		3週	融合複合技術によるモノづくり	最先端の融合複合技術によるモノづくりについて説明できる。	
		4週	融合複合技術によるモノづくり	最先端の融合複合技術によるモノづくりについて説明できる。	
		5週	融合複合技術によるモノづくり	最先端の融合複合技術によるモノづくりについて説明できる。	
		6週	融合複合技術によるモノづくり	最先端の融合複合技術によるモノづくりについて説明できる。	
		7週	融合複合技術によるモノづくり	最先端の融合複合技術によるモノづくりについて説明できる。	
		8週	融合複合技術によるモノづくり	最先端の融合複合技術によるモノづくりについて説明できる。	
	2ndQ	9週	融合複合技術によるモノづくり	最先端の融合複合技術によるモノづくりについて説明できる。	
		10週	融合複合技術によるモノづくり	最先端の融合複合技術によるモノづくりについて説明できる。	
		11週	融合複合技術によるモノづくり	最先端の融合複合技術によるモノづくりについて説明できる。	
		12週	融合複合技術によるモノづくり	最先端の融合複合技術によるモノづくりについて説明できる。	
		13週	融合複合技術によるモノづくり	最先端の融合複合技術によるモノづくりについて説明できる。	
		14週	融合複合技術によるモノづくり	最先端の融合複合技術によるモノづくりについて説明できる。	
		15週	融合複合技術によるモノづくり	最先端の融合複合技術によるモノづくりについて説明できる。	
		16週	融合複合技術によるモノづくり	融合複合技術によるモノづくりについて学習した内容をレポート等にまとめる	
後期	3rdQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	4thQ	9週			
		10週			

		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	演習・レポート 等	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	100	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0